

「新・議会改革・運営ビジョン」の策定に向けて(案)

『くらし豊かな ^{あす}いいだの未来を 市民とともに』～市民のしあわせに貢献する議会～
を目指して

令和5年6月29日
議会改革推進会議

議会改革推進会議は、2023年（令和5年）4月にまとめた「飯田市議会 地方議会評価モデル」（以下、評価モデル）の進行管理を担う組織として、評価モデルをベースに、新しい「議会改革・運営ビジョン」（以下、新ビジョン）の策定に向けて、評価モデルによって抽出された「取り組むべき課題」（以下、「課題」）の実現方策の検討を進める。

その手順、手法については以下の通りとし、議員間の共有を図ることとする。

1. 新ビジョンの策定を目指した評価モデルの整理【正副委員長より案を提示】

- ①旧・議会改革・運営ビジョン策定の際に使用したフォームに倣う。
- ②評価モデルで抽出された「課題」の実現方策を検討するにあたって、「課題に存在する背景など」を整理する。
- ③「課題」の取り扱いを、①市民との関係性の深い「課題」※『整理案』の塗りつぶしの事項、②その他の「課題」（議会の内部的課題）に振り分けるとともに、「課題」の実現方策等を検討（～実践）する組織等を整理する。

2. 「課題」の検討にあたって

- ①「課題」の検討にあたっての協議のポイントを押さえる。
 - ・手段（何を）、手順（どのようにして）・方法（どうする）・達成時期等（いつまでに）・実践していく組織等
- ②スローガン、ビジョン、ミッションを念頭に検討を行う。
- ③それぞれの「課題」の抽出に至った評価は、評価モデルの「実施報告書」を参考とする。【プロフィール5＝P17～28 成熟度評価のまとめ＝P31～35】
- ④上記 1. の③で、「課題」の実現方策等を検討するとされた組織（議会改革推進会議、ほか）によって「課題」について検討を進める。

3. 「課題」の実践

- ①「課題」の検討の結果を、実践していく組織等において早期に実践に取り組む。
- ②別紙資料「活動の振り返り」に準じ、議会改革推進会議において進行管理を担う。

4. 取組のスケジュール

- ①別紙「地方議会評価モデル 年度のスケジュール」による。
- ②市民との関係性の在り方や、改革を担保する制度化などについて、引き続き検討を行う。